

箕面市新子どもプラン(箕面市次世代育成支援対策行動計画)目標指標とその進捗状況

項 目	実績値			目標値	これまでの事業の推進方法と今後の課題
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成21年度	
(1) 家庭における子育ての見直しと地域における子育て環境の整備					
子育て支援センター : 子ども部子ども支援課 【事業概要】 地域で子育てが孤立しがちな、就学前の児童を養育する家庭(特に在宅)を対象に子育てを支援する。	1箇所	1箇所	2箇所	3箇所	【実績】 既設らいとびあ21内を「中央子育て支援センター」とし、みのおサンプラザ(箕面文化・交流センター)内の分室を拡大移転し、新たに「西部子育て支援センター」として開設した。(平成18年9月) 【方針】 東部地域での開設を検討する。
子育てサロン開催回数 : 健康福祉部健康増進課 : 子ども部子ども支援課 【事業概要】 民生委員・児童委員や地区福祉会と連携し、育児サロンを全小学校区で開催できるよう支援する。	74回	101回	126回	120回	【実績】 平成18年度は12小学校区で開催。 【方針】 地域での子育てサロンが地域に根づき安心して子育てしやすい町になるように、関係機関との連携を深め、専門的な支援を継続する。(健康増進課、子ども支援課)
食に関する健康教室、健康相談の参加者数 : 健康福祉部健康増進課 【事業概要】 地域での子育てサロン、育児サークル、幼稚園等への栄養士の出務相談、支援の実施。乳幼児期の食に関する教室の実施。	4,637人	6,223人	7,619人	5,000人	【実績】 親子クッキングの開催。地域活動への出務回数、相談件数の増加。 【方針】 乳幼児期における継続した「食育」の実施。

<p>地域での健康相談者数 : 健康福祉部健康増進課</p> <p>【事業概要】 地区の子育てサロン、育児サークル、幼稚園等への保健師、 歯科衛生士の出務、相談支援の実施。</p>	3,755人	4,765人	5,455人	5,000人	<p>【実績】 出務回数および相談件数の増加。</p> <p>【方針】 専門的な相談支援を継続。</p>
<p>未就学児童の虫歯罹患率 : 健康福祉部健康増進課</p> <p>【事業概要】 歯科衛生士による健診、教室、地域活動での相談支援、予防 活動、早期発見に努める。</p>	24.2 ^{パーセント}	20.9 ^{パーセント}	21.4 ^{パーセント}	20 ^{パーセント}	<p>【実績】 乳幼児健診での虫歯罹患率の低下。</p> <p>【方針】 今後もあらゆる機会をとらえて、虫歯予 防のための専門的支援を実施していく。</p>

(2) 保育サービスの量的・質的充実					
保育所の待機児童数 ：子ども部幼児育成課 【事業概要】 保護者が就労などの理由により保育を必要とする就学前児童について、保育所で保育を実施する。現状において申込みを行った児童のうち、待機数が出ているため、これをゼロにしている。	45人	78人	47人	0人	【実績】 【方針】 平成19年10月に市立保育所4箇所(桜ヶ丘、萱野、稲、東保育所)において20人ずつ定員増を図り、平成20年度市立桜保育所民営化に伴い20人増を行う予定。
通常保育事業(認可定員) ：子ども部幼児育成課 【事業概要】 保育所の待機児童解消に向け、定員増を図る。	1,225人	1,225人	1,225人	1,325人	
学童保育の待機児童数 ：子ども部子ども支援課 【事業概要】 共働き等、何らかの理由によって放課後家庭において保護者が監護することができない児童の保育を実施する。	0人	0人	0人	0人	【実績】 小学校12校区で実施。平成18年9月に萱野東小施設整備を行い、40名80名へ定員増を行った。 【方針】 学校の余裕教室の改修による受け入れ可能児童数の増。 遊び場開放事業との一体運営を実施。
学童保育事業(入所枠) ：子ども部子ども支援課 【事業概要】 共働き等、何らかの理由によって放課後家庭において保護者が監護することができない児童の保育を実施する	700人	700人	740人	912人	

<p>一時保育事業(箇所数) : 子ども部幼児育成課</p> <p>【事業概要】 保護者が冠婚葬祭、パート就労・傷病などで一時的に保育が必要となった場合に保育所で保育を行う。</p>	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	<p>【実績】 平成15年度時点で東部(小野原学園)、中部(みのり保育園)の民間保育所2カ所で実施済み。</p> <p>【方針】 平成19年10月に、瀬川保育園で実施する予定。</p>
<p>延長保育事業(午後7時30分まで) : 子ども部幼児育成課</p> <p>【事業概要】 一般の保育所の保育時間(午前7時から午後7時まで)に加えて、午後7時30分までの延長保育を行う。</p>	1箇所	1箇所	1箇所	3箇所	<p>【実績】 平成15年度時点で東部(小野原学園:民間)で1カ所実施済み。</p> <p>【方針】 平成19年度市立瀬川保育所民営化に伴い実施。また、市立箕面保育所民営化の際に実施する予定(年度未定)。</p>
<p>休日保育事業 : 子ども部幼児育成課</p> <p>【事業概要】 日曜祝日に就労する家庭等のニーズに対応するため、保育所で保育を実施する。拠点方式で市内1カ所で実施予定。</p>	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	<p>【実績】</p> <p>【方針】 平成20年度市立桜保育所民営化に伴い実施する予定。実施に向け平成19年度は、他市の事例研究、実施法人との協議等を行う。</p>

(3) 子育て世代に対する労働環境の整備					
男女協働参画をテーマとする講座等の参加者数 : 人権文化部男女協働参画課 : 生涯学習事業担当(学セン・公民館) 【事業概要】 男女協働参画社会形成に向けた啓発と学習機会の提供	147人	183人	202人	300人	【実績】 男女協働参画フォーラム、市民企画講座、他部局でのテーマに合致した講座の開催 【方針】 課主催講座、共催講座の他、他部局での男女協働参画をテーマとする講座の開催
(4) 子どもの遊び場づくり					
自由な遊び場開放事業の利用者数(一日平均利用者数) : 子ども部子ども支援課 【事業概要】 異年齢の子どもたちが遊べる場所・居場所を確保することにより、独創性・主体性や他の人を思いやることのできる心の豊かな子どもを育てるため、市立小学校の一部を自由な遊び場として開放する。	62.2人	68.3人	81.6人	70人	【実績】 箕面市立小学校のプレイルーム、運動場、屋内運動場を開放 【方針】 学童保育との一体運営を実施 子どもの安全確保

(5) 子どもの文化的・社会的活動の支援

<p>子どもが参加できる場や機会の数 ： 全部局</p> <p>【事業概要】 地域の未就園児とその保護者を対象に、園庭を開放してミニイベントを行い交流をはかる。(幼稚園担当) キッズ感染セミナー(市立病院) 保育所園庭開放(幼児育成課) 子どもの自主的活動、異年齢集団活動の場としてのこども会活動を推進する日ごろの学術・芸術・文化活動などの成果を発表する場を設ける(子ども支援課)</p>	164回	209回	205回	130回	<p>【実績】 子ども対象の講座の開催(「あそびランド中央」9回・「あそびランド東」9回・「あそびランド西南」9回・「親子で楽しむ料理教室」4回・「夢を形に！デザイナーってなあに？」1回・「親子で楽しもう科学実験！！」3回・「ほっとスペース西南」50回)(生涯学習事業担当) 市立保育所7所及び民間保育所2所で毎週実施(幼児育成課) こども会の活動成果の発表事業、活動育成の研修事業の実施、青少年文化祭、プラスフェスティバル、青少年弁論大会の実施(子ども支援課) 年1回開催(市立病院)</p> <p>【方針】 継続実施(生涯学習事業担当) 平成19年度は、市立6所、民間4所で実施(20年度からは市立5所、民間5所)(幼児育成課) こども会の活動支援、文化振興施策との連携(子ども支援課)</p>
<p>教学の森青少年野外活動センターの子どもの利用者数 ： 子ども部子ども支援課</p> <p>【事業概要】 青少年の健全育成をめざし、野外活動、集団活動を実施する</p>	8,613人	9,647人	9,488人	9,636人	<p>【実績】 多種多様な野外活動の機会の提供。 キャンプカウンセラーの育成。 指定管理者による管理運営。</p> <p>【方針】 計画的な修繕による施設の維持管理。</p>

<p>ジュニア向けスポーツ事業の参加数 ：生涯学習部スポーツ振興課 ：萱野中央人権文化センター</p> <p>【事業概要】 子どもを対象としたスポーツ大会を教室の開催</p>	<p>384人 (スポーツ) 1,155人 (人権文化センター) 合計 1,539人</p>	<p>351人 (スポーツ) 1,139人 (人権文化センター) 合計 1,490人</p>	<p>360人 (スポーツ) 1,759人 (人権文化センター) 合計 2,119人</p>	<p>2,120人</p>	<p>【実績】 ジュニアスポーツ教室の開催(テニス55人、卓球13人、バレーボール13人参加)ジュニアソフトボール大会の開催(19チーム、279人参加)(スポーツ振興課) スポーツ活動を通してルールを学び、プレイの楽しさを共有し、自尊感情の醸成を図った。(らいとびあ)</p> <p>【方針】 ニーズの把握、広報を充実させ、参加者の増大を図る。開催場所の拡大、開催時間の変更も視野に入れ指定管理者と連携し事業を展開する。(スポーツ振興課) 自尊感情を高めることで一つのスポーツのみならず、他の活動にも積極的に興味を持って参加できるよう参加の定着を図る。(らいとびあ)</p>
<p>みのおかんきょう探偵団の子どもの登録者数 ：都市環境部都市環境政策課</p> <p>【事業概要】 「みのお・かんきょう探偵団」は、子どもたちに日常生活のなかで環境問題に取り組んでもらうことを目的に活動するクラブである。環境省の「こどもエコクラブ」に登録して活動を行っている。</p>	<p>60人</p>	<p>92人</p>	<p>156人</p>	<p>150人</p>	<p>【実績】 環境省の「こどもエコクラブ」に登録して活動を行った。また、子どもたちに親しまれるテーマで環境に関する記事を掲載した「エコニュース」を年4回発行し、メンバーに配布した。</p> <p>【方針】 今後も環境省の「こどもエコクラブ」に登録して活動を行う。</p>
<p>図書館の子どもの登録率(子どもの人口に対する登録率) ：生涯学習部中央図書館</p> <p>【事業概要】 中央図書館、地域館3館、分館1館、図書コーナー、配本所及び移動図書館において、子どもに対する図書館サービスを行い、子どもの登録率37.0%を目指す。</p>	<p>29.7%</p>	<p>30.6%</p>	<p>31.9%</p>	<p>37.0%</p>	<p>【実績】 保育所及び幼稚園のイベント時に移動図書館の巡回し、子どもの利用促進を図った。</p> <p>【方針】 移動図書館の活用による子どもへの図書館サービスや、子ども読書活動推進計画の推進により子どもの登録率の向上を図る。</p>

(6)教育内容の充実と開かれた学校づくり					
<p>コンピュータを利用して指導できる教員の割合 ： 教育推進部教育センター</p> <p>【事業概要】 情報教育研修会等の開催</p>	77.7%	77.9%	78.1%	84%	<p>【実績】 情報教育研修を18回実施しスキルアップを図ると共に、情報教育推進担当者連絡会を毎月開催し情報提供を行った。</p> <p>【方針】 H18年度の取り組みを継続すると共に、校内研修の充実も図る。</p>
<p>習熟度別少人数指導実施率 ： 教育推進部学校教育課</p> <p>【事業概要】 個に応じたきめ細かな指導による確かな学力の定着を図るため、少人数指導を全校で実施する。</p>	51.1%	42.2%	64.4%	75%	<p>【実績】 全小中学校で実施。</p> <p>【方針】 各小中にて実施する学年などを広げるように工夫する。</p>
<p>総合的な学習の時間における学校と地域との協働授業率 ： 教育推進部学校教育課</p> <p>【事業概要】 地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するため、総合的な学習の時間のテーマごとに地域の方々との協働授業・まなびんぐサポーターや社会人講師・学力向上ボランティアなど大学生や地域の人的資源の活用と子どもたちに「生きる力」を育成するための取り組みをすべての学校ですすめる。</p>	35.0%	61.0%	65.0%	80.0%	<p>【実績】 各小中学校においてゲストティーチャーによる授業に取り組んだ。</p> <p>【方針】 地域との協働による授業づくりに取り組む。</p>
<p>不登校生徒数(小学校)(1,000人あたり) ： 教育推進部学校教育課</p> <p>【事業概要】 不登校研究プロジェクトチーム会議・担当者連絡会の開催。スクールカウンセラーの配置と活用。不登校支援協力員の配置(2校)と活用。</p>	2.9人	3.0人	2.4人	3人未満	<p>【実績】 校内の組織体制を整備し、不登校児童の課題が担任一人の課題とならないよう取り組んだ。</p> <p>【方針】 さらなる校内生徒指導体制の充実。</p>

<p>不登校生徒数(中学校)(1,000人あたり) : 教育推進部学校教育課</p> <p>【事業概要】 不登校研究プロジェクトチーム会議・担当者連絡会の開催。スクールカウンセラーの配置と活用。不登校支援協力員の配置(2校)と活用。</p>	28.0人	25.3人	17.8人	25人未満	<p>【実績】 小中連携により、小学校時代に長期欠席を経験した生徒へのきめ細かい指導に心がけてきた。</p> <p>【方針】 より丁寧な小中連携によるきめ細かな指導。</p>
<p>(7) 健全育成と自立支援</p>					
<p>こども110番ステッカー設置協力数 : 子ども部子ども支援課</p> <p>【事業概要】 子どもを性被害や凶悪事件から守るため、市内の店舗、家庭等に子どもが危険を感じた際の避難、保護を依頼し、協力店舗等に「こども110番ステッカー」を設置している。</p>	645件	649件	738件	620件	<p>【実績】 痴漢・不審者等の発生状況の把握と適切な対応。 ステッカー設置協力者の拡大。 地域パトロールステッカーの配布。</p> <p>【方針】 学校・地域と協力して、児童・生徒に対する啓発活動の推進。</p>
<p>(8) 世代をつなぐ生涯学習・交流の促進</p>					

<参考> 第四次箕面市総合計画第3期実施計画成果指標等

子育てしやすいまちと思っている市民の割合					
設問:あなたは、箕面市は子育てしやすいまちだと思いますか。(平成17年度:たとえば、保育サービスや放課後児童対策、子どもの遊び場や子育てに関する相談・情報提供などについて「思う」「どちらかといえば思う」と答えた人の割合	60.50%	61.50%	66.30%		平成22年度目標値 75.0%
虐待に対する通告義務を知っている市民の割合					
設問:あなたは、虐待を受けている子ども、あるいは虐待を受けているらしい子どもを発見したときに、子ども家庭センターなどに通告しなければならないことを知っていますか。「知っている」と答えた人の割合	75.30%	73.50%	72%		市民満足度アンケート調査結果